

信頼できる病院選びの決定版

読売新聞社
YOMIURI SPECIAL 149
定価 1210円(10%税込み)

独自アンケートを実施!

掲載データ

5568
病院

病院の

2023総合編

【インタビュー】



小林幸子さん 網膜剝離
小倉智昭さん 膀胱がん

実力

知っておきたい
治療実績&診療体制

がん

大腸・胃・乳
肝臓・肺
膵臓・脳腫瘍
放射線治療

脳卒中／手外科

肩の痛み／痔の治療

【Q&A】

罹患率が高い

大腸がん

手術で改善する

変形性関節症

増える治療の選択肢

心臓弁膜症

保険適用が広がる

がんの重粒子線治療

【ベストセレクト】

前立腺がん／心臓病

回復期リハビリテーション／腰の病気

読売新聞医療部編

痔の治療に強い「病院」特集

痔核の手術・ALTA・併用療法

痔ろうの根治手術

痔の日帰り手術

施設基準・女性医師・スタッフ

痔は、肛門や肛門周辺に起こる疾患のことです。代表的な病気には、痔核（いぼ痔）、痔ろう、裂肛の3つがあります。直腸脱は、肛門から直腸が飛び出す病気です。いずれも、生活の質を大きく左右する病気で、専門医による適切な治療が必要です。



取材・インタビュー協力

日本大腸肛門病学会 理事長
松島病院
大腸肛門病センター院長

宮島 伸宜 医師

痔核・痔ろう・裂肛 直腸脱とは

肛門の三大疾患といわれるのが、痔核（いぼ痔）・痔ろう（あな痔）・裂肛（切れ痔）です。

痔核は最も多く見られる痔疾患であり、皮膚と直腸の境目の皮膚側にできるものを外痔核、内側の粘膜にできるものを内痔核といいます。内痔核の主な症状は出血です。静脈のうっ血した内痔核から血が滲み出たり、時には噴き出したりすることもあります。大きくなると脱出や痛みが出てきます。外痔核の場合、痛みや出血がない場合は経過観察で問題はありません。強く息んだり、女性では妊娠や出産時の息みで一時的に外痔核になることもあります。

痔ろうは、肛門陰窩（こうもんいんか）から侵入した細菌が肛門腺に感染し、肛門内から外の皮膚側まで膿の通る管を形成した状態です。膿が溜まると腫れたり、痛くなったり、膿が出たりします。しこりを形成することもあります。

裂肛は、便秘や硬い便などが原因で肛門の出口付近の皮膚が

切れる状態です。排便時または排便後の痛みが数分から数時間続くことがあります。慢性化すると肛門部の突起物や肛門ポリープが生じたり、肛門が狭くなったりして太い便が出せない状態になることもあります。

直腸脱は、肛門括約筋が緩み大きく開いて、直腸全体が引っ張ってくる状態です。肛門外へ脱出した直腸の粘膜が下着にこすれるので出血することが多く、直腸全体が翻転するので、かなり強い痛みがあります。

3つの基本的な治療法から患者に適した方法を選択

痔核の主な治療法は、①保存療法、②手術療法、③ALTA療法（ジオン注射）の3つ。1、2度の内痔核は、保存治療で、痛みや腫れ、出血を抑える軟膏や座薬、便を柔らかくしたり炎症を抑えたりする内服薬を使用しますが、出血や痛みが慢性的に続き、再発繰り返すようであれば手術を選択します。

有数の実績のある松島病院大腸肛門病センターでは、痔核の根治を目指す患者の手術を数多く行ってきました。「痔核の手術は、注入動脈を根元の部分でしばって、痔核を放射状に切除します。手術は約15分程度ですが、痔動脈という血管を処理するので、術後の出血等のリスク

を考えた場合、1〜2週間程度の入院が必要で、内痔核の根元をしばった糸は、当院では術後10日ほどで自然に溶ける糸を使うので抜糸の必要はなく、傷もきれいに保てます。当院の場合、痔核の術後による再発率はわずかです。再発率の低さから、入院施設のある病院として根治を目指す患者さんを受け入れることが多いです」と、同院の院長で、日本大腸肛門病学会の理事長職も務める宮島伸宜医師は話します。

ALTA療法は、アルミニウムカリウムタンニン酸液（ALTA）を痔核の上部、中央、下部の粘膜下層、中央の粘膜固有層に注射します。ALTA療法は手術よりも再発率が高いなどの欠点がありますが、注射をするだけなので入院の負担がなく、術後の出血も防げます。「当院では手術を薦めるのが主体ですが、子育て中の方や仕事の都合でどうしても手術が難しい患者さんも決して少なくありません。その場合はALTAによる治療を選択します。症状はかなりの確率で改善するので、治療の選択肢としては良いでしょう。ただし、可能ならば入院して手術をするのが理想です。いずれにしても、治療のメリットとデメリットを十分説明し、痔核のタイプや患者さんの状態にあわせて適した方法を実施します」

（宮島医師、以下同）。

痔ろうは手術が必要です。同

院では、経験豊富な専門医が新しい超音波機器を利用し、痔ろうの全体像を把握し、肛門括約筋機能を温存する手術を行っています。単純な痔ろうであれば、短期間の入院で済む場合もあります。

「痔ろうの手術では、括約筋の機能をどれだけ保持できるか、術後に早期回復できるかを担当医としっかり話すことが大切です。肛門は毎日使う場所なのでQOLは非常に大事。手術経験が豊富で、排便も含めた生活習慣までトータルケアをしてくれる病院を選んでください。ただし、痔ろうの原因が、クローン病の場合があるので、それを区別するため、痔ろうの手術を検討する前に内視鏡検査が必須です」

裂肛は、排便習慣を改善することで治ることが多い疾患です。慢性化した場合は手術の適応になりますが、そこまで至る人は非常に少なく、保存療法が主体です。

直腸脱の治療も手術が基本。「手術法は細かく数えれば50以上もありますが、基本的には経肛門的手術と経腹的手術に大別されます。肛門の内圧と排便造影の検査で直腸脱の原因を調べ、その後、手術の方法を決定。肛門の筋肉を閉める機能が衰えている人が多いので、再発させないためにはどの手術が良いかを相談して決めていきます。直腸脱は、当院で年間約200件以

痔と、生活習慣

生活習慣の改善は痔の治療の基本です。痔を予防したり、あるいは悪化させないために正しい生活習慣を身につけましょう。

- ①排便を我慢しない／便意を我慢しすぎると、便意を感じなくなってしまう。
- ②便を出し切ろうとしない／最初の息みで、ほとんどの便は出てしまいます。便を完全に押し切ろうとしなくても健康に影響はありません。排便時間は長くても3分以内にしなす。
- ③排便後は清潔に／排便後、肛門洗浄器の使いすぎはかぶれなどの原因になります。短時間の使用にとどめ、強く拭きすぎないようにしなす。
- ④食物繊維、水分をしっかりとり／1日20~25gを目標に食物繊維をとります。
- ⑤朝食をしっかりとり／朝食をとり空の胃の中に食べ物が入ると、眠っていた腸が動き出ます。
- ⑥アルコール類、香辛料を控える／アルコール、香辛料をとりすぎると肛門が刺激され、うっ血させるなど、痔を悪化させます。
- ⑦適度な運動をする／腸の動きが活発になり、排便がスムーズに。
- ⑧同じ姿勢を続けない／肛門がうっ血しやすくなます。
- ⑨毎日入浴する
- ⑩温める／痛みがある場合は、肛門に力を入れないようにして、おしりを温めると痛みが和らぎます。ただし、濃などで患部が熱をもっている場合は冷たいタオルなどで冷やしてください。

【出典：痔-WEB（監修：若尾純一診療所）】 <https://www.iwadare.jp/G-WEB/>

上診断されるほど多い疾患で、高齢者だけでなく若い方にも発症ます。腸を支える筋肉支持組織が弱い人や長年便秘で何年も強くいきんできた方などにも多くみられます」

生活習慣の改善や指導もできる 専門医の治療を

初期症状の目安は、痔核は初期段階から出血や痛みがあること。痔ろうは自分で触ることができ、膿が出ることも。裂肛は痛みと少量の出血があり、直腸脱は脱出した直腸が下着にくすれて痛みや不快感が出ます。「肛門からの出血の大半は痔ですが、中には大腸がんのことも

ある。同院でも、痔だと思っいたら大腸がんだった患者さんが一定数ます。大腸癌の検査は10分もあれば終わる。基本的に麻酔を効かせた状態で検査をするので痛みの心配は全くありません。恥ずかしい人もいるかも知れませんが、検査室には複数の医療関係者がおり、安心して検査が受けられます。女性専門の施設も増えているので、女性医師を希望することもできます。健康診断で便潜血が出たり、日常で肛門から出血があったりしたら、必ず内視鏡検査をしてください。自覚症状があれば痔の治療を専門にしている病院やクリニックを受診することが大切です」と宮島医師は強調し

ます。「痔は、排便時に強いいきみや便秘、運動不足、座りっぱなしなど、お尻に負担がかかる生活を続けることで発症することが多い疾患。生活習慣に気を付けることで多くの場合、予防できます。生活習慣指導も含め、直腸、肛門の疾患をしっかり理解している病院に行ってください。痔は病気だけを診ていても治る疾患ではありません。生活習慣も含めて指導してくれる医師の治療を受けることが望ましいです。筋トレが何歳になってもできるようなお尻も何歳になっても鍛えることができます。諦めずに治療に取り組んでいきますよう」

社会医療法人 健生会 土庫病院 奈良県

院長・外科 吉川 周作

1988年 大腸肛門病センター開設(福次直樹医師)

◆主な診療

- ・肛門疾患全般(痔核・裂肛・痔瘻)
- ・大腸癌、ポリープ
- ・クローン病、潰瘍性大腸炎

◆特徴

- ・週1回、女性専用のおしり専門外来
- ・専門医による肛門診療
- ・ストーマリハビリ外来

〒635-0022 奈良県大和高田市日之出町12-3
TEL.0745-53-5471 <https://kenseikai-nara.or.jp/dongo/>

医療法人東仁会 とうじま内科・外科クリニック 愛知県

内科・外科中心の「総合クリニック」で、痔の日帰り手術・痔瘻・消化器外科専門医による診断と治療で、「煩わしい悩み」解消を

理事長・院長 東島 由一郎 医学博士(名古屋大学)、日本外科学会認定外科専門医、日本消化器外科学会認定消化器外科専門医

街のかかりつけ医である一方、痔の専門外来も開設。数多くの日帰り手術を行っており、中でも痔疾患に定評あり。手術はALTA療法(切らない、注射の手術)を基本として、必要あれば切除併用も実施。痔の原因になりうる便秘に着目して、しっかり丁寧に治療ます。オンライン診療、リフィル処方箋にも柔軟に対応しています。クリニックのロゴマークにある「四つ葉のクローバー」は、「肛門外科もありますよ」という隠れメッセージです。

●日帰り手術実績件数 2016年4月~2022年12月			
内痔核(ALTA)	571	肛門周囲膿瘍	215
内外痔核(ALTA+分離結核術)	637	痔ろう	142
内外痔核(リボスクレー)	115	慢性裂肛	23
		痔直腸脱	10
		その他(膿瘍摘出など)	488

〒456-0053 名古屋市熱田区一番三丁目3番6号
TEL.052-684-4311 <https://toujima.com>

2024 THE 100th ANNIVERSARY 松島病院は2024年100周年を迎えます 神奈川県

医療法人恵仁会 松島病院

理事長 松島 誠 院長 宮島 伸宜

松島病院は1924年(大正13年)9月の開院からまもなく100年、一貫して大腸肛門疾患の専門病院として社会に貢献してまいりました。2023年(令和5年)5月8日、未来に向けて松島クリニックと統合した松島病院がスタートます。

2023年5月8日開院 | 新病院(建設中)移転先
〒220-0041 神奈川県横浜市西区戸部本町9-11
京浜急行線「戸部」駅 徒歩3分 / 横浜市営地下鉄ブルーライン「高島町」駅 徒歩10分